

こぶしの花と東日本大震災

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月01日

最近街中でこぶしの花をよく見かけるようになりましたが、平塚二丁目の京陽公園でも元気に咲いています。



その名前の由来は「つぼみが開く前の形がにぎりこぶしに似ているところから」とある本に書いてありました。3月から5月にかけて咲く花ですので、今頃（3月下旬）はあちらこちらで見ることができます。

この花が咲き始めるとそろそろ暖かくなり、季節の到来を知らせてくれる花ですが、今年は3月下旬でもかなり寒い日が続いています。

千昌夫の歌「北国の春」の中で「こぶし咲く…北国の春…」と歌われていますが、ここでいう北国とは作詞者は信州の情景を描いたと言っています。しかし私には東北を指すように思えてなりません。東日本大震災による被害の状況をテレビや新聞で見るにつけ心が痛みますが、私たち町会として何ができるかを議論しました。現在私たち平塚二丁目町会では東日本大震災支援の義援金の受付を行っています。（3月18日～31日）



町会会館前



京陽公園

東北のみなさん、暖かい春の到来に向けて頑張ってほしいと思います。

平成23年3月28日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月01日

品川区民公園の春（啓蟄の頃）3月11日大地震に遭遇

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月01日

区民公園の春は梅林から新春の蠟梅、白梅から始まります。梅林には各種の梅があり、次々と開花します。啓蟄を迎え残り少ない中、紅白の「思いの儘」も開花していました。



淡い緋色の「紅冬至」は見頃を迎えていました。
その向こうでは、紅い木瓜が満開でした。



梅林の北側、噴水広場には黄色い山茱萸が満開でした。
下から見上げれば、黄色の豆粒、その豆粒には三十個程の小さな花があります。



野球場東側の遊歩道脇には二本の万作があります。
背丈が極めて伸びて、周りの木々に隠れて、見過ごされています。区民公園は勝島運河を埋め立てて造られた所、勝島運河は品川-大森の漁場を埋立てて出来た運河、多くの木々が住みついて数十年経っています。
この遊歩道を北に進んだ辺りにもう一本の山茱萸があったのですが、見当たりません。今年は異常気象で花の咲かない花木に数々出会っています。蕾もつかなかったのかと帰路に着いた時、歩けなくなりました。大地が右へ左へ動いているのです。いつもの病が再発？地震でした。樹木が大きく揺れています。十四時五十二分とメ

モがあります。梅林は斜面で山茱萸は一丈した高所での撮影。思い起こせば、身振りします。



北口、梅の広場への小道に、紅色の「こより」、紅花ときわ万作です。少々早い開花です。

花木も足許もまだ揺れている感じでした。大地は雨水を吸い、蒸発させて、大自然の揺れで少しずつ硬くなって行きます。植物たちはそれを感じながら雨風や地震と共に生きていきます。人間は、人間が作った「文明の力」で、大自然に対する感覚を失い、ますます弱くなっているようです。

平成23年3月14日

内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年04月01日

片栗咲く都会の山里 備前岡山藩池田家下屋敷池田山公園（春分の頃）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月14日



雪吊が外され春を迎えた池田山公園、池の奥の斜面に紫色の春の花、片栗が開花しました。都会の山里に自生する多年草。東京では奥多摩のハイキングコースに群生している山があります。記憶では「三頭山」だったと思います。



片栗は根のでんぷんが片栗粉として利用されています。ところで「でんぷん」は海藻に含まれるヨードと反応してこのような紫色になります。つまり、海の幸と山の幸の結晶のようですね。大地に海の成分が含まれている、もしそうであれば奥多摩のハイキングコースも池田山も太古の時代は海であったのではと思い浮かべられます。



池田山では古墳があった事は記録に残っています。海の名残りが「片栗」に秘められているようです。



重も姿をみせました。杏、白の花桃も開花しました。大地震に、異常気象に耐えている都会の山里の植物たちです。

平成23年3月26日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月14日

大原通りの土筆 春分の候）（豊町二丁目）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月14日



一週間程前に西品川で土筆に出会いましたが、今回は五、六年程前東京で初めて土筆に出会った場所、感激が一段違います。



「今年も産まりました」
都会で異常気象他の悪化する大気汚染等と闘っている姿です。
杉菜の新緑も並んでいます。新しい小さな生命は生命の力を与えてくれます。



東北の人たちに送り届けたい大自然の生命です。

平成23年3月26日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月14日

聖蹟公園でボランティア

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月15日

4月5日15時半、聖蹟公園に行きました。春の日差しが大変心地良い日でした。公園の簡単な清掃と花壇の水撒きをする為です。



子供たちが元気よく遊んでいました。



春の日差しが暖かく花を包み込んでお花も心地よさそうに見えました。



花壇の周りを清掃した後、会社の花壇（下）にも水撒きをしました。



花は、今一番の見ごろを迎えています。少しは景観に貢献していると嬉しいんだけど？

平成23年4月5日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年04月15日

桜について

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月18日

何処の桜が良いですかとよく質問を受けます。晴れた青空の下であれば皆同じ、違うのはその桜がどのように育てられているか、その地で桜の生命が生かされているか、つまり育てる人の桜への愛情、優しさがあるかどうかはその全体の風景、景色に現れています。「植えて置けばいい」それでは、桜の生命が死んでしまいます。

桜に限らず木は、ほぼ炎のような対称的な形に成長します。桜は種類によって高さが違い、細いものから広がっているものとあるようですが、伸び伸びと育った桜は枝が伸び伸びとしています。又、障害を避けて枝は成長します。人は車、建造物等への影響を考えて、枝を切り落とします。これは最悪。又、狭いからと近接して植えます。根本も1～2メートルの若木では大地は1メートルほどでいいかもしれませんが、成長すれば根も横に広がります。半径15メートル程は、根を含めて障害のないようにしたいものです。日照権を人と同じにははいけない、つまり植物の日照権は日の出から日没までです。つまり、大半の桜が伸び伸びと育っていません。

品川では桜の名所が江戸時代にありました。1つは御殿山、もう1件は来福寺。御殿山は鉄道等により山が切り落とされ、今は個人所有。古木がどのように残っているか、その話はありません。昔の面影は想像できません。来福寺は戦災で焼失したとのこと。焼失をまぬがれた聖天堂近くに1本の古木（大木）があり、昔の名残りかもしれません。松林の緑で庭園を飾っています。忘れられた桜の名所は生きていると思います。池田山公園は桜の周囲が高いのですが、伸び伸びと育っている古木の1つです。旗岡八幡神社の桜は建屋等が戦災に会い、焼け残った桜のようです。伸び伸びと育っている桜の見本です。旗の台6丁目、防災運動広場の2本の枝も同様です。目黒川沿いは大崎付近の桜が有名でしたが、ビルの陰で成長が止まりました。川の南側は午前中だけの桜です。禿坂の桜は、昔、広報紙でも「バスの中から見る桜」として紹介されているように車の人用の桜で、桜の散歩道として人気が出ないのは、ここも含めて「車」が原因です。桜並木は人が歩いて生命があります。桜の季節は「車乗入禁止」にすれば「禿坂」「立会道路」「御殿山」「荏原町駅前仲通り」等、「桜の名所」になります。区民公園は桜と他の木が近接していて、全体に「間引き」しないと成長しません。桜と桜の間をもっとあける事が公園に求められます。東品川海上公園も並木通りの舗装を土に戻す事が必要です。公園内の舗装を止める、タイルを止める、植物への愛情です。五反田公園、花房山等の桜は根本が不安定、崖からもっと離す方が良いでしょう。多くの桜が戦後の桜、又は昭和初期つまり古木です。

若木と入替りの時期かもしれません。

平成23年5月11日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月18日

小山八幡神社の躑躅（立夏の頃）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月19日



摩耶寺で行われた花まつりの帰り、小雨も止んでいたもので、神社を訪ねてみました。階段脇、境内東側の斜面いっぱい躑躅が咲き誇っていました。小雨により輝きを増したようです。



本殿左には樹齢二百年以上と言われるしいの木の新緑も見えます。

小山八幡神社は、小山の森、田園都市の一角の古木の森、いつも街中の躑躅を追い続けていて、気が付かなかったようです。下は駐車場になっています。休憩所だったらいいですね。

平成二十三年五月七日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月19日

品川の桜／立会川沿い 西小山～西大井 （清明の頃）四月六日～八日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月31日



立会川は目黒碑文谷池の湧水を水源とする小川、品川用水他の湧水と共に荏原、大井の農耕地帯を潤したと言われていました。昭和になって電車の開通と共に周辺地域は京浜工業地帯の住宅地になり、農業用水としての役目を終え、昭和四十年代にふたかけが行われました。

東急目黒線西小山駅付近から中原街道までは車道、中原街道から第二京浜国道までは遊歩道、第二京浜国道からJR大井町駅までは車道、大井町から月見橋までは遊歩道、月見橋から河口までは流れが残っている川です。

その河口も鮫洲の海が一時は運河になっていましたが、河口より南側は埋め立てられ、運河は河口の一部になってしまいました。

桜は川沿い、ふたかけ後のもの、公園のもの、新旧さまざまです。西小山の桜並木は江戸見坂との交差付近から始まります。両社祭の神輿が揃う八幡坂付近も揃っています。



西小山からは谷川のような地形、そこへ近年はビル化が進み上へ上へと伸び始めました。

上が開けるのは荏原南公園付近です。園内の桜は川沿いのものと根本が違います。川沿い道路脇では舗装が根本を被っています。



園内では大地に思う存分根を張り、伸び伸びと育ちます。今年は団体のお花見もなくなおさらです。家族連れには天国。川沿いと言うより車道の桜並木、曲り角からは見通すことが出来ます。大半の車は停まったままです。車中からのお花見も出来ません。



昭和大学病院前は後に整備された所です。中原街道と第二京浜国道の間は遊歩道、しかしもともと川沿いの道が狭く、桜があるのは一部です。荏原町商店街の裏、中

延五丁目シャイニングロードと呼ばれています。三十五橋横にもありましたが、工事により姿を消しました。



もう一箇所中延六丁目昔の職業訓練所跡、今の中延特別養護老人ホーム脇です。第二京浜国道を渡ると直ぐ近くに西大井原っぱ公園があります。川沿いから離れていてかなりの古木です。

平成23年4月14日

内田雅弘

カテゴリ : 平成23年度

投稿日 : 2011年05月31日

品川の桜／しながわ中央公園（清明の頃）四月八日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月31日



京浜工業地帯の跡地に出来た新しい公園で、この四本の古木の桜はその折、地元の人からの寄付によるものです。古木は大木。枝だけでなく大地の中の根も苦しい程に狭いかもしれません。互いに邪魔をしないように生きて来た桜です。お互いの緊張が生命力になっているようです。



北側の道路沿いにあります。芝生は例年お花見で賑わう所です。



南側の桜は陽射しの関係で園内からは見難い桜、木陰を提供してくれます。



木陰を提供している桜には緑の葉があります。染井吉野と違って落ち着きのある花です。運動場の周囲は三月は緋寒桜、この時期は中小企業センターとの境に染井吉野があります。しながわ中央公園はボランティア花壇があり桜と共にお花見を楽しむことができます。

平成23年4月21日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月31日

品川の桜/ 街並と桜 御殿山周辺（清水の頃）四月十日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年05月31日



居木橋から北の大地に向う坂道、北品川四丁目、五丁目の間の御殿山の坂です。車が無ければのんびりとした桜のある急坂です。ただ、午後はビルの日陰になるので午前中です。



坂の上は桜の広場、近隣ビルの所有、散歩と休憩はできます。



御殿山通りの端、翡翠原石館です。



東に向かって御殿山通りの桜並木です。車に注意が必要です。



御殿山は広大な所、五百年も昔には墓地として記録されています。桜を有名にしたのは江戸の将軍、特に品川の海を見渡す事の出来た東側と言われていますが、東海道線等鉄道により、切り通しになりました。



桜は命あるもの次々と世代は変わっていると思います。今、目を惹くのは、この柳と桜の古木です。



御殿山橋を渡ると切り通しの東側、北品川三丁目、権現山公園があります。遊園地、お花見のできる桜の囲いがあります。公園の古木の桜は、遊園地の家族連れ、児童たちを見守っています。

平成23年4月23日

内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年05月31日

品川の桜／寺社と桜 品川宿青物横丁（清明の頃）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年06月02日

○天妙国寺（南品川二）四月十日



本堂脇の桜、大きく広がり、年々、古木としての風格が増してきました。本堂前はこじんまりと纏められ、四季折々の花木も楽しめます。枝垂桜も新入りです。

○諏訪神社（南品川二）四月十日



妙国寺、現在の天妙国寺の守神として祠られた神社で、隣接の真了寺と共に昔の妙国寺の境内です。天妙国寺、真了寺、近隣の人たちに守られています。桜は背の高い古木です。狛犬が静かにお花見です。諏訪大明神の縁日は二十三日、昔は賑わったとの事。瓦屋根は寺の建築様式です。

○品川寺（南品川三）



海岸沿いの東海道品川宿、昔の陽ざしは何処へ行ったのでしょうか。お地藏様にも日照権を！短い時間、桜が映えています。改修された山門脇は若木の桜色が淡紅色に萌えています。



山門附近の桜↑鐘楼付近↓



○海雲寺（南品川三）

品川の千体荒神様。近年、このような濃い色の枝垂れが、寺社で若木として目立ちます。染井吉野と違った雰囲気になります。人々の心に何か変化があったようです。

平成23年4月20日内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年06月02日

品川の桜/目黒川沿い 東品川海上公園（清明の頃）四月十一日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年06月03日

目黒川河口は、かつては今の品川浦。新しい河口は品川浦の出入口と絡っている東品川海上公園です。開園して五年は経っていると思います。

国内の桜が育ち、桜の公園になりました。南の入り口から桜並木です。



園内には東品川ポンプ所があり、屋上への階段があります。階段からの桜の様子です。

団体のお花見がなく、のんびりした桜並木です。



海岸通り・北の出入り口です。

北口近くの芝生。桜は舗装された遊歩道より大地の中が落ち着きます。

園内のアイル橋からの眺め

船着場があり、目黒川等に利用されているとのこと。

ポンプ所のある場所からアイル橋を渡ると全く異なった公園に来た感じです。この近くに水門があり品川浦に絡っています



目黒川は洪水により流水が変えられました。平野は洪水により運ばれた土砂で作られ、川は自然の力で流れを選びます。

川沿いの桜は新しい流れのもので。山手通り、八ッ山通りの交差点付近で一本の

古木に出会いました。昔の目黒川沿いの桜かもしれません。



古木の桜は歴史を語ってくれます。今の目黒川の桜は京浜工業地帯から変わりつつある品川を記録しているかもしれません。



平成23年4月20日 内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年06月03日

椎の花 肥後熊本藩江戸越屋敷戸越公園平成二十三年五月八日（立夏の頃）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年06月10日



薬医門前の椎の木淡い緑が混じって見えます。椎の花です。秋には細長い「団栗」になります。椎は暖かい地方の木。九州には多くあります。品川では鹿嶋神社、小山八幡神社等にあり、小山では樹齢二百年もの古木もあります。品川区の木にも指定されています。



椎の花は小さな花の集合、花穂と呼ばれるもの。これが団栗になる不思議な形ですね。ここでも昆虫たちの姿が見られません。

椎の木は暖かい地方の木、ということは東京は二百年も前から気温が上昇していた事を小山八幡神社の古木が物語っています。江戸末期は海外では火力、蒸気による動力が盛んに開発されていた時期です。言わば椎の木は温暖化の証拠品です。

平成23年5月10日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年06月10日

小満の頃・戸越 平成二十三年五月二十五日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年06月11日



戸越六丁目、戸越公園。緑の中に白い点が見られます。唐種招霊(カラタネオガタマ)の花です。モクレン科の常緑樹、しながわ区民公園にはもっと背の高い木があります。バナナのような香りがあるので英国では「バナナツリー」と呼ばれているそうです。泰山木(タイサンボク)の花の小型版です。



豊町二丁目戸越公園、東門は冠木門の名残です。観音開きの大扉、左右の小扉、豪快な江戸戸越屋敷を思い浮かべます。濃くなった桜の緑の下では五月躑躅が咲き始めていました。池の辺りでは松の緑、五月躑躅の紅、黄菖蒲が色取っています。



この日は風もなく池は鏡のようでした。薬医門前は五月躑躅で飾られていました。



薬医門北西部にあるのが国文学史料館、水産資料館跡地戸越屋敷の名残です。東屋跡地付近が落ち着けます。池には黄菖蒲が所々で咲いていました。戸越公園の北側は戸越小学校。戸越屋敷に含まれます。道路沿いの古木の緑に色の変化が見られます。



薄紫色の花が多数あります。花中央は細い筒状になっています。梅檀の木でした。本州の西部から沖縄等暖かい地方の海岸等に多いそうです。古名は「アフチ」「棟オウチ」建材、家具、漢方薬等用途は多く庭木としても使われています。今は小学生たちを見守っています。

平成23年5月26日

内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年06月11日

区民公園のアメリカデイゴが満開になりました。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日

しながわ区民公園に出かけました。

アメリカデイゴが誇らしげに真っ赤な花を咲かせていました。この時期（6～7月、6～9月と書いているものもあります）に開花する花で、寒さに弱い花です。写真は6月19日（日）に撮影したのですが、1週間前は開花前でした。



花は椿のように「ポトツ」と音をたてて散ります・・・。



鹿児島県の県木でもあり、花そのものもなんとなく暖かそうな感じですね。自然が時季の到来を告げてくれます。

原産地は南アメリカですので、アルゼンチンやウルグアイの国花になっています。デイゴと言えば沖縄の花（県花）ですが、それとは別の種だそうです。

平成23年6月20日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日

平塚橋から荏原町へ 中通り散策（入梅の頃）平成二十三年六月十二日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日



入梅は本来は六月十一日頃、今年は五月末に宣言されましたがしとしと雨が続く本物の梅雨ではありません。この頃は野菜は苦味があり、花も香りの強いものが目立ちます。恐らく黄砂の成分が蒸発している所為だと思われます。平塚橋より中通りを南下、西中延一丁目、中延公園で昼食。梔が香っていました。道路沿いでは紫陽花が色付いていました。



中通りは中原街道東側の補助の街道、東急池上線と交差、地下化され地上に出来たのが延山くすのき公園です。季節の花々が近隣の人により手入れされています。立葵がそこかしこで見頃になっていました。紫陽花はすっかり色付いていました。花壇はいろいろ開花していますが、淡紅色の混じった月見草も今が見頃です。昼に開花するよう手入れされたとも聞いています。



近くには西中延三丁目児童遊園。黄色の花があります。この時期至る所で見かける未央柳（美容柳）に似ていますが長い糸状の多数の雄しべがありません。一寸大きいのですが金糸梅と同じようです。

旗の台三丁目旗岡八幡神社では泰山木が大きな白い花を幾つも咲かせていました。



泰山木は旗の台、小山地域で数多く見られます。

隣接の法蓮寺荏原七福神恵比寿堂の周りでは南天が開花していました。



境内中程では菩提樹も開花していました。品川区内では珍しい花木、荏原六丁目、葛原神社にもう一本あります。強い香に蜂が来るはずですが今年はお会いませんでした。



社務所前に白い花木、夏椿です。もしかしたら沙羅樹かも知れませんが。夏椿は本州・四国九州の温暖な地方、沙羅樹は印度産。素人には区別出来ません。一般的に平家物語「沙羅双樹」の花として知られています。二種類である事を知っていた方が良さそうです。中通りから荏原町駅付近へ。旗の台三丁目立会川児童遊園脇で夏椿と姫沙羅がありました。



夏椿

姫沙羅

向側には真っ白な紫陽

花です。近くには泰山木もあります。



姫沙羅の跡地を南へ、東急大井町線を過ぎると旗の台四丁目淡紅色の小さな花があります。産地にちなんで下野、戸越公園、薬医門前にもあります。次の路地角に剪定された木の根元から新芽、花もついています。



軒先より高い木でしたが曲角、車に支障ありと切られたようです。「くろがねもち」と記憶しています。切られても新しい生命、強い生命力です。

今年もどちらかと言えば空梅雨、小雨の中の紫陽花は梅雨の気分を変えてくれます。場所によって咲き具合大きく違っているのが今年の特徴、小雨の日の散策になりそうです。

平成23年6月14日

内田

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日

「花交差点の仲間たち」による、花ロード祭り

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日

6月26日（日）、ボランティア「花交差点の仲間たち」による花ロード祭りを行いました。

今回で7年目を迎えました。当初は仲間のみ少人数でスタートしましたが、現在では近隣マンションの方々も参加し、50名前後が集まるようになりました。

歩道にあるラベンダーだけでは不十分なので、勝島運河の花海道のブースをお借りしてラベンダーを育てています。足りない分は勝島運河でラベンダーを育てている方に、少し分けていただいで開催しています。

今回は、ラベンダースティック、ポプリ袋、オリジナルカードの3点の作製です。またマンションの子ども会の七夕祭りとコラボし、賑やかに行うことができました。

七夕飾りは東日本大震災への復興祈願や応援メッセージなど自由に短冊に書き込んで飾り付けられるよう、7月7日まで置くことにしました。

久しぶりに子どもたちの明るい弾んだ声に大人も笑顔と元気をもらいました。

地域のコミュニティも少しずつですが、広がっています。

「花交差点の仲間たち」花ロード祭り

=ラベンダークラフトづくり&子ども会七夕祭り=



日時:2011年6月26日(日)10:00~12:00
場所:ライオンマンション大森エントランス
主催:ライオンマンション大森 環境整備ボランティア委員会
大森海岸マンション協議会
参加者:54名

*クラフトづくり



運河で大きく育ったラベンダーの摘み取り



ラベンダースティック作り中！！



熱心にポプリ袋を完成に近づけている！ 大人は奮戦苦闘！？



*子ども会七夕祭り



子どもたちは思い思いの七夕飾りに夢中でした！



今年も参加者と一緒に「花ロード祭り&子ども会七夕祭り」で盛りました！子どもたちの明るい弾んだ声に、大人も笑顔と元気をもらい、イベントは一味も二味も違う花ロード祭りでした。「花交差点の仲間たち」一同、来年も皆様をお待ちしております。



家族ですか？



平成23年7月1日
真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年07月07日

「鹿島庚塚公園」の清掃ボランティア活動

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月07日

「品川・大井町 みどりと花を守る会」という団体を発足させて、鹿島庚塚公園の清掃活動を実施しています。

月に2回程度の清掃活動ですが、季節ごとの落ち葉や日常ゴミの収集、煙草の吸殻等が実施する度、大きなゴミ袋3袋程度回収されています。

品川区・都市環境事業部 水とみどりの課 みどりの係のサポートのもと、清掃用具や清掃備品の提供も受け、頑張っています。

これから、参加メンバーも増員して、もう少し大きなイベント等も実施したいと考えています。

【清掃前】

【清掃後】



平成23年7月5日

徳島政治（記者NO.100106）

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年07月07日

最近の京浜運河

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月19日

相変わらず運河の観察を続けています。去年から塩分の高い状態で推移しており、運河の中がより鮮明になってきた感触を得ました。

2002年から数年にわたって塩分が高い状態が続きました。この時は外海からの潮が直接運河の中に流れ込んだ結果でしたが、アサリとホンビノスガイが大発生しました。その後更に今まで見られなかった生き物がたくさん出現しました。その状態は2007年頃まで続きましたが、潮の流れ込みが弱まると共に元の状態に戻ってしまいました。

ところが昨年11月半ばから再び塩分が高くなり、今年5月まで続きました。最近では入梅したとたんに塩分は下がってしまいましたが、その前に潮が流れ込んだ影響からか、今年またアサリとホンビノスガイが多く出現しています。その他、運河ではもう見られる機会はないのではという貝も出現していますが、今回の塩分の高い状態の期間が短いためか出現生物は少なく、2002年のミニミニ版の感じです。外海の潮の流れ込みによる高塩分状態が続くと運河の中は良くなるようです。



マメコブシガニ（左）とトゲアメフラシ（アメフラシの仲間ですが貝の仲間です）



セキモリガイ 運河の中で再度出現すれば2030年頃と推測していた貝です。

観察を始めて36年目になりますが、東京湾奥の水が少しずつ確実にきれいになって来ているのを感じています。

平成23年7月1日

青野良平（記者NO.070103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日 : 2011年07月19日

区民公園の今（平成23年6月下旬）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月19日

区民公園では春の花が実になっていました。この記事をご覧になる頃はどんな状況でしょうか？

<びわの実>



<みかんの実>



びわの開花は晩秋から冬ですが、白い地味な花で気づくことも少ないようです。葉の形が楽器の琵琶に似ているところから名前がつけられたようです。よく見ると似ていますね。

実がなるのは5～6月ですが、実はなりにくいのです。しかし今年はお覧のように実を結びました。

みかんの実は色づいています。

<モモの実>



<柿の実>



モモは3月下旬～4月上旬、きれいなうすい桃色の花をつけますが、7～8月に実になります。

モモ、柿ともまだ実は青いですが。

<ブドウの実>



<梅の実>



ブドウは花が咲いた後、実になるまでの期間が意外と短いので、うっかりすると実ができていないのに気付かないことがあります。

梅は私たちに大変親しみのある花、実です。

これらの花や実はあくまでも鑑賞用として楽しみたいですね。

平成23年7月1日

丸山 均（記者NO. 090105）

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年07月19日

品川神社富士塚 山開き（品川区指定無形民俗文化財） 平成二十三年七月三日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月21日



品川富士山開きが行われました。品川神社の富士塚は、品川区指定有形民俗文化財、明治二年に造られた後、大正十一年に、現在の第一京浜国道に面した位置に移転、富士山の溶岩を運んで造られたと言われています。その品川富士（富士塚）が、今年三月の東日本大震災の被害を受け、現在、修復中です。登山道入口は急階段の中程、周囲には緑色の網が、頂上には青色ビニールシートが掛けられています。

富士山の山開きは七月一日、容易に行けないからこそ、品川富士で山開きを行います。隣接の浅間神社が残っています。



午前十時過ぎには準備が進められていて、三月の大震災時の品川富士の様子が展示してありました。その写しも配られました。午前十一時、品川神社神職により、品川富士山開きの式典が始まりました。富士山誕生の年が申年との事にちなんだ猿の人形が、提灯の下で式典を見守っていました。



神社の周囲、隣接の品川富士が葎い清められました。式典は十分ほどで終了しました。



午前十一時二十分頃、品川講の人達による拝みが始まりました。今回も大勢の見学者です。

拝みの文面は古くから伝わるもの、昨年、先達に先立たれた後、皆で声を合わせています。

拝みが始まった頃、観客の人には、お祝いの赤飯が振舞われました。



全員での謡いで拝みは終了です。正装は白装束に素足です。登山道入口まで向います。

道を祓清め、品川講の旗、御神酒と続きます。品川富士登山道入口で御神酒を奉じ、拝みをします。



浅間神社に戻ります。

でも、被災した品川富士が気になります。いつもの下山口に入ってみました。



正午を過ぎました。皆で昼食です。先達は、今日は一人、皆で本物の富士山へ行き、ご朱印を増やした姿を期待します。富士山は日本人の宝です。

平成23年7月3日

内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年07月21日

第十五回立会川環境美化運動（小暑・七夕）平成二十三年七月七日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月22日



恒例となった立会川環境美化運動が七夕、川の日にちなんだ七月七日、月見橋より下流の立会川周辺立会川河口・勝島運河周辺で地域の人達品川区東京都と一緒に
な
っ
て
行
わ
れ
ま
し
た
。立会川は目黒碑文池の湧水を源流とし、東京湾に流れ込む小川、東京湾は埋立が進み勝島運河となり更にその運河の南側が埋立られ、運河は立会川の河口の延長になり立会川は次々と蓋が架けられ、川として残っているのは月見橋より下流だけです。

午後三時、立会川河口下水道局浜川ポンプ所で開会式。野品川区長、大井消防署所長等挨拶の後、大井第一町会連合会長により開会宣言です。



大井第一地区二十一町会と近隣の商店街他グループ参加の人達は二班に分かれて広報活動とゴミ拾い等行いました。

本間副区長率いる二班は勝島運河（愛称・しながわ花海道）を経て旧東海道を周りました。運河沿いは六月に秋桜の種まきが行われ秋の開花が期待されています。旧東海道は品川の歴史の散歩道です。



運河清掃のゴムボートも出発です。野品川区長率いる一班は立会川を周ります。



涙橋脇から立会川駅前通り、立会川商店街に入り、京浜急行立会川駅の下を通り第一京浜国道へ抜けます。



第一京浜国道を渡り川沿いの商店街を通り、東大井昭和橋から立会川沿いに出ま

す。

立会川周辺は日頃から清掃活動が盛んでごみの少ない地域です。



川沿いに降りて清掃。川の中は舟を

使ったの清掃です。



広報活動ごみ拾い清掃が終わったところで飾り付けです。午後三時四十五分、近くの鮫浜小学校の生徒達が京浜立会川駅前「ぼらちゃん橋」付近から第一京浜国道「立会川橋」まで川沿いの溶岸ポットに花植えを行いました。



この日の仕上げは七夕飾りです。子供達、連合町会会長、品川区長等々皆で環境美化への思いを短冊に記しました。午後四時過ぎ浜川ポンプ所で閉会式、東京都下水道局の方の挨拶で閉会宣言です。

なお環境美化に終わりはありません。心の持ち方一つです。

平成23年7月9日 内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月22日

花海道実行委員会 7月17日のイベントへ向けての会議

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

2011年6月19日（日）東大井区民集会所で、7月17日（日）に行われる「しながわ花海道・コスモスの種まき」イベントにむけての話し合いが行われました。実行委員12名と立正大生10名の計22名が参加しました。



しながわ花海道の種まきイベントでは、過去、畑名簿や畑番号の管理が不十分でトラブルが起きていました。そこで会議では、名簿の管理の徹底（新しい名簿の作成）、2回連絡がなく欠席された方の畑は新しい人に渡すなど、畑の管理の徹底が決定しました。

また、しながわ花海道が始まって9年が経ち、畑の土が悪くなっているという意見もでました。しかし、土の改良にはお金がかかり、財源をどうするかなどの問題で様々な意見交換がなされました。意見交換のなかで、ある区では、公園の木と土で堆肥落葉を作っており、それを無料で貰い受けることが出来るという話がでて、このことを検討することになりました。

予定時間を延長し、2時間ほど様々な意見交換が行われました。過去の反省を踏まえ、改善し、より良いしながわ花海道になるようにこれからも頑張っていきます。実行委員の皆様お疲れ様でした。

平成23年7月1日

坂本美波（記者NO.100104）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

立正大学の畑を耕しました！～しながわ花海道～

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

2011年7月6日（水）と7日（木）の2日間、2グループに分かれてしながわ花海道の立正大学の畑8面を耕しました。雑草がたくさん生えていたので、まず雑草を取り除きました。次に土を掘り返し、綺麗に土を均しました。



暑い中みんな一生懸命、汗を流し、畑仕事をしました。新しく地域連携支援室に入った2年生の1人は、「大学に入って、こういうこと（畑仕事）するなんて思ってもみなかった。でも良い経験になる。」と語っていました。



また、7月17日の種まきイベント当日に参加者に配布するコスモスの種を一つ一つ袋に入れる作業も行いました。準備は着々と進んでいます。7月17日の当日、良い天気に恵まれることを願います。

平成23年7月15日

坂本美波（記者NO.100104）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

立会川商店街の七夕祭り

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

2011年7月9日（土）、立会川商店街で七夕祭りが行われました。龍馬像の前の広場では、子どもたちのダンスや歌のパフォーマンス、ママさんコーラス、奄美の方の歌・楽器の演奏などが行われ、盛り上がっていました。



この七夕祭りで使われる笹は、商店街の方々が千葉県の木更津まで赴き、取りに行くそうです。短冊には商店街のお店の名前や願い事などが書かれていました。なかには「がんばれ東北」という短冊も…。

また、竹は七夕飾りだけでなく、そうめん流しにも使われていました。

七夕祭りは夏の風物詩ですが、暑い夏の陽ざしも七夕飾りの下は涼しさを感じます。

クーラーを効かせた部屋を出て、エネルギー節約に一役買いました。



平成23年7月15日

坂本美波（記者NO.100104）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

「しながわ花海道」でコスモスの種まき

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

平成23年7月17日（日）「しながわ花海道」で恒例の「コスモスの種まき」が行われました。

「しながわ花海道」では春は菜の花、秋にはコスモスが咲き誇ります。今日は多くの方が、秋に私たちの目を楽しませてくれるだろうコスモスの種まきをしました。私も一区画をお借りしており、まずは草抜き、整地から始め、その後種をまきました。今秋には一面にピンクや白などのきれいなコスモスの花が花海道を散歩する人の目を楽しませてくれることと思います。



平成23年7月19日

畔柳今朝登（記者NO.090106）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月24日

第15回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2011年07月26日

平成23年7月8日（金）、第15回環境記者情報交換会が12名の環境記者とオブザーバーの出席のもとで行われました。

本年度もインタメディア代表の佐山吉孝様から、しながわの風景のお話を伺いながら情報交換を進めることにしています。本年度のメインテーマは「編集力入門」で、第1回目のサブテーマは「編集力って何？」です。佐山様は「グラフしながわ」の編集長を長く務められた経験から、記事を書くにあたってのアドバイスをいただきました。

編集とは、ある辞書によると「一定の方針・目的に従って資料を収集・整理し、新聞・雑誌・書物などの形にまとめることや、撮影済みのフィルムやテープを映画などの形にまとめること」とあります。

ポイントが3つあります。

1. 一定の方針・目的
2. 資料の収集、整理
3. 形あるものにまとめる

この内、「1.一定の方針・目的」というのが、どうも大事らしい。

これを料理に例えると分かりやすいと思います。

(1)食べる人のことを考える (2)自分がつくれる料理、つくってみたい料理について考える

(3)メニュー（方針、目的）を決める (4)買い出し（取材に出かける） (5)調理（書く）

(6)付け合せは何にしようか（構成）を考える (7)美味しそうに盛りつけよう（デザイン・レイアウト、表紙や体裁） (8)どうぞ召し上がってください (9)反省（みんなの感想、意見を聞く）

(10)そしてだんだんとその人の料理の傾向、得意なレパートリー（定番メニュー）が決まってくる



また今回は新たな試みとして、佐山さんが街歩きをしながら環境記者の地元を訪ね、そこで見る昔の面影を残す風景や、住む人を思い浮かべながら街の紹介をしていただきました。

限られたスペースに鉢植えなどを所狭しと、道にはみ出さんばかりに並べている民家が結構ありますが、皆さん植物を愛しているのですね。街の中にも意外と自然が残っています。

数本の竹が伸びている、そんな家が何軒か目に入りました。その昔、戸越はたけのこで有名だったのです。線路際もなかなかの「植物園」です。以前「グラフしながわ」で線路際を徹底的に調べたことがあります。東急電鉄の方に立ち会ってもらって調べたのですが、なんと61種類の植物がありました。放っておくと林になってしまうので、刈り込んでいるそうです。大変な作業ですね。



今回は2つの町会の取材となりましたが、このたびの大震災があって町会の役割が見直されています。大事な社会的機能ですが、機能している町会とそうでない町会があります。平塚二丁目町会と西中三丁目町会は非常によく機能していると思いました。やる人の問題でどうにでもなる。皆さん大変なのに楽しそうにやっています。楽しくやることで皆さんが集まってくるのですね。

【第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です】

【志賀さん】明日（7月9日）商店街と町会とが一緒になって「ぼんぼん祭り」を行います。商店街に段ボールで作った灯籠を並べて電気を灯しますが、この時期ですのでLED電球を使い、電源は人力です。子どもたちの環境教育も兼ねて行います。

【青野さん】京浜運河の観察を続けて36年目になります。東京湾奥の水が少しずつきれいになり、透明度が増しているのを感じます。

【丸山さん】しながわ区民公園では今年は春にたくさんの花が咲き、現在実になってきています。腐葉土を還元した成果と思っています。特に梅は3年前から力を入れ、土壌が悪い中で腐葉土を施し、害虫もついたのですが、大きな実がたくさん生るようになりました。土壌改良によって木のつやが良くなり、葉っぱも強くなり、きれいな色になりました。その結果花が付き、実に繋がっています。秋にかけて柿の実が楽しみです。あくまでも観賞用です。

【畔柳さん】歩行の際にポイ捨てごみを拾っています。また7月17日のしながわ花海道でのコスモスの種まきに参加する予定です。



【小野さん】聖蹟公園の花壇の一部を区からお借りして、その管理と清掃活動のボランティアをしています。公園内にある灰皿にはたばこの吸殻が山になり、また散らかっていて、1回清掃に行くとビニール袋一杯になってしまいます。こういったことは人の意識の問題であり、残念です。

【辻本さん】（今回はオブザーバーとして参加していただきました）会社でお客様に省エネの提案をする仕事をしています。個人的には各人の善意の積み重ねが大切であると思います。一方、節電は大切ですが健康管理も必要ですので、無理のない程度での節電をお願いします。

【真壁さん】大森海岸からしながわ水族館までの歩道の清掃と花壇に花を植えて管理をするボランティアをしています。年1回のボランティアの「お祭り」で歩道にラベンダーを植え、それを使ってクラフトづくりをしています。

【高塚さん】大崎西口商店街の方が区からいただいたマリーゴールドを目黒川沿い、御成橋、御成橋公園ほかに植えています。商店街や企業の方、日野学園や大崎中学の生徒さんが植えています。

先日ある会議に出席した時、会議室に大きな氷柱があり扇風機で風が送られていましたが、涼しく感じました。また新聞の記事ですが、自宅でペットボトルに水を入れて破裂しない程度に凍らせ、扇風機の前に置くと同じような効果があるとのこと

でした。



【吉岡さん】会社は震災後様々な節電を行い、3月後半のエネルギー使用量が対前年比50%になりました。やればできるじゃない!!! 今は夕方でも明るいので6時に全館一斉消灯となり、帰社も早くなりました。

【安田さん】総合体育館の近くにたばこのポイ捨てが見られます。戸越体育館には喫煙所と灰皿がありますが、総合体育館にはそれがありません。ここは日野学園の施設で灰皿を置けないため、役員がたばこの吸い殻を拾っています。喫煙者からすれば、灰皿がないからポイ捨てすると言います。難しい問題ですが、矛盾を感じています。

【若井田さん】小学生の高学年を中心にキャンプなど集団行動の支援をしており、それに絡んだ記事が書けるといいなあとと思います。

【中西さん】7月18日の海の日に、海岸の漂着物を撤去する作業に参加することになっています。また川をきれいにする目的での活動もしていますが、4月頃に現地を選んだ微生物を川に入れ、今頃それが繁殖してきて川がきれいになっています。



【事務局】町会の活動やそのまとめりについて皆さんの関心は高く、資源回収など町会として定期的に環境活動をしているところもあれば、そうでないというお話もありました。皆さんそれぞれのグループで積極的に活動されており、その報告をしていただきました。多くの環境記者にお集まりいただき、非常に活発な情報交換がありました。今回も大幅に時間が超過してしまいましたが、多くのご意見ありがとうございました。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2011年07月26日

マリーゴールドが街を飾ってくれています

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月29日

大崎西口商店街の方が区からいただいたマリーゴールドを、商店街や企業の方、日野学園や大崎中学の生徒さんが協力して目黒川沿い、御成橋、御成橋公園、大崎西口商店街などに植えました。

黄色やオレンジ真夏の太陽に似合う花です。



大崎駅前（西）



御成り橋公園



目黒川沿い

平成23年7月19日

高塚純江（記者NO.100101）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年07月29日

まだ夏だと思っていたら

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月14日

2011年8月7日（日）、まだ夏だと思っていたら枯葉が落ちていました。もう秋がそこまで来ているのかな？

ここは都立大井ふ頭中央海浜公園

朝9時について自然観察を開始。何か見られると良いのですが。



公園入口でアオスジアゲハが迎えてくれました。この蝶々、公園のあちこちの木に居ます。



いつものように公園のこのオブジェを見ます。これを見ないと来た気がしません。



気温30℃以上でトンボもあまり飛ばず、枯れ草の上で一休み。

また別のトンボがこの大きな木の影になっている地面の枯葉にとまっていました。



カワウとコサギが干潟で羽を休めています。その隣で、川遊びを楽しむ人たち。



川岸の反対側の丘は林になっていて景色が一変、森林浴ができ涼しい。



林の中ではミンミンゼミやアブラゼミの合唱です。



午前11時、気温31℃
そろそろ帰ります。

平成23年8月8日
小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月14日

環境記者情報交換会に出席して

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月14日

環境記者懇談会を通して、様々な勉強をさせていただいております。ありがとうございます。

7月8日の懇談会では、旧住民と新住民との交流が無い状況、町会になかなか受け入れてもらえない状況、資源回収などの環境活動への参加の呼びかけなど、環境記者はどのように取り組んだら良いのだろうかという悩みが多数発言され、私も同じ課題を抱えて過ごしております。私の資料が、何かの参考になればという思いでお届け致します。

パンフレット「町会に入ろうよ」は、品川区が地域の活性化を図る目的もあって地区毎の連合町会が作成したものです。（品川区に200強の町会・自治会がある）



皆さんの住んでいる地域の地域センターに行きますと、この種のパンフレットがある筈です。全ての町会・自治会長が区政協力員になっております。

区政協力委員会は毎月会合があり、町会会員の要望を聞いて地域代表として区側に意見を述べ、検討を願って回答をいただく制度です。また区側は、品川区長期基本計画等に基づき、草案の段階で区政協力委員に意見を聞きながら個々の事項を決定し、区の地域活動を実施運営していくという地域にとっては、最も重要な意見交換会となって運営されています。

町会内では、町会内居住者が増えているのに町会会員になる方が少ない、町会加入者数が伸びない、加入率が減少傾向にある、活性化について町会毎に差があるなどの課題を抱えております。これらを改善する一つの方法として、パンフレット作成配付、町会ホームページ開設、各種講習会の開催等、品川区は実施を続けています。（詳細は、地域センターでお聞きになると、自分の所属する町会について更に具体的に詳しく話を聞くことが出来ます。）

町会に関心を持って入会していただく仕組みづくりについて、平塚二丁目町会組織を使って説明します。

部の数・役員総勢には差があるでしょうが、各住所地番毎に班が形成され、班長さんがまとめ役となって、町会定例会や町会役員会に意見が集まるようになっていきます。そこでは区政協力委員である町会長を中心に、各種課題が話し合われています。

町会推薦委員、健康づくり推進委員など、町会に6種類の委員がおります。これらのネットワークの中で、仲間と一緒に声をかけて参加しはじめるのも良いかと思えます。

町会では様々な活動をしていますので、ほん一部ですがご紹介します。

環境関係では何といっても資源回収活動です。町会会館内に倉庫があり、いつでも資源を運び込むことが出来ます。この売却益は町会運営等に使われます。



その他、青少年育成活動、交通安全活動、文化祭、祭礼、運動会、防災・防犯活動など多岐にわたっています。

昨今、町会担当者も高齢化が進み、行動できる人が少なくなり、活性化がはかれない悩みをもっています。町会に関心をもっている方は、先ず町会担当者の意見を聞き、町会が抱えている課題等を聞き出し、町会行事に参加することを通して町会会員の信頼を得るよう、積極的に努力することが肝心なのではと思います。長い地道な道のりかもしれませんが、地域コミュニティはこのようにして拡大し、充実し発展していくものではないでしょうか。

ご参考になれば幸いです。

平成23年8月8日

志賀 勝 (記者NO.060110)

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年08月14日

東五反田（大暑の頃）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月22日

平成23年7月24日



ねむの木の庭の正面の通りにはインドネシア大使館他花木の美しい所があります。長い生垣は淡紅色に染まっていました。百日紅(サルスベリ)と木槿(ムクゲ)です。



ねむの木の庭と池田山公園を結ぶ散歩道、猛暑の暑さを忘れさせてくれます。

平成23年7月25日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月22日

浜木綿ハマユウ（クリナム）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月22日

大原通り（大暑の頃）

平成23年7月30日



戸越五丁目東急大井町線近くの大原通りの角、今年も葱が裂けたような形の白い花、浜木綿が開花していました。

熱帯から亜熱帯の海岸地域、七一八月の花で彼岸花科です。日本に自生するものは葉の形が万年青(オモト)に似ているので浜万年青と呼ばれています。又「木綿」は古くは「ユウ」と発音し「木綿髪」(ユウカミ=馬のたてがみの白いもの)「木綿花」(ユウハナ=木綿で造った白い花)等の使い方から「浜木綿」は海岸沿いに咲く白い花の意味があるようです。

平成23年8月2日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月22日

節電で街の明かりが暗い

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年08月26日

昨今の節電に対して、一斉にエアコン・照明など、節約するという事が行われてきました。照明では、電球や蛍光灯を取り外して、最低限の明かりで過ごす事が多くなりました。



</a)



照明の球を取り外している施設

エントランスで1個だけ点灯させている

従来、日本は照明のつけ過ぎで、世界中を見渡しても明るい場所が多いと言われてきましたが、こういった事を急激に行った事で、我々の生活環境も大きく変わりました。

防犯面・経済効果など色々な側面で、照明（明かり）は私たちと密接に関係しています。電力不足の問題を乗り越えて、今後は明るすぎず、暗すぎずの、快適で省エネ効果に優れた環境が増える事を期待しています。

平成23年8月24日

辻本喜律（記者NO. 110101）

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年08月26日

蠟燭の公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年09月08日

行灯フェア しながわ中央公園 平成23年8月27日



品川区の芸術・美術等の愛好家の人達により8月27日、28日しながわ中央公園で行灯フェアが行われました。8月21日22日に予定されていましたが雨天で順延されました。行灯の数は約560個、その多くは子供達の作品です。



7月17日杜松小学校で開かれた区民祭りで、行灯作りの体験が行われていました。

杜松小学校他にも子供達に指導し作ってもらったとの事でした。言わば子供達の作品展示会です。親子連れが特定の行灯で記念写真を撮っている姿が数多くみられました。



蠟燭の明かりは蛍光灯やLEDと違って人の心を和ませます。品川西大井の養玉院如来寺では8月13日千燈供養が行われます。行灯ではなく提灯です。



節電の呼び掛けがあっても夜の生活が当然のようになった現代、雨戸も硝子窓に代わり、行き交う車、裸電球数個だった昔の公園に比べ夜でも明るい世界、楠木が大きくなり周囲の家が少ない事が行灯の効果を上げてくれました。

午後7時から2時間、行灯よ！有難う！「がんばれ東日本」の文字もあります。

平成23年8月29日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年09月08日

カルガモの里 小山巖島神社弁天池の大掃除

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年09月28日

カルガモの里

小山巖島神社弁天池の大掃除

平成23年9月16日



品川のカルガモの里、小山巖島神社の弁天池の大掃除が行われました。湧水で豊かだった池の水も環状七号線工事後はポンプで汲み上げ、立会川に流れていた弁天川も消えました。その後水浄化装置等を設置してくれた会社が神社の正面、不思議な巡り合わせで会社の人達の奉仕作業で池の清掃が行われてきたそうです。



今回も早朝からポンプが設置され水の汲み上げ作業です。清掃はせせらぎから開始、鉄分が多いとの事でした。鯉は深みに追い込み亀等を保護します。小魚、ザリガニ、鰻や鯰も居たそうです。お賽銭の硬貨もあります。一つ一つ丁寧に保護します。



いよいよ深みに追い込んだ鯉の捕獲作業です。



鯉を大型の水槽に移し終えて、ヘドロの除去が始まりました。



ヘドロは次々と袋詰めです。



三年分のヘドロ十袋。専門の処理業者に渡されました。深みには新しい水が注ぎ込まれます。



水槽の鯉は次々と深みに戻されました。お昼頃一段落、昼食後片付け等です。水処理装置会社の人達の情熱で、弁天池は生き返りました。鯉や亀も冬を越し、春のカルガモの飛来を待つことが出来ます。自然を守る情熱に出会いました。

平成23年9月19日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年09月28日

10月1日の大井ふ頭中央海浜公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月12日

2011年10月1日AM11:15 大井ふ頭中央海浜公園に来ました。
右下の写真は2011年8月7日に撮ったもので、撮影場所は同じです。



夏に来たときと比べると、もうずいぶん草が枯れて白くなっています。
いつものようにオブジェの写真をパチリ。右下は夏（2011.8.7）に撮った写真。



オブジェの後ろ、少し低いところに赤い花が見えます。
近づいてみると彼岸花（曼珠沙華：マンジュシヤゲ）が咲いていました。



うん・・・？何か動いた。左下の写真を見て解りますか。

カナヘビです。

枯れ葉が保護色となってよく観ないとわかりませんでした。見つからないようにと息を殺してこちらを見ていました。おかげでちゃんと写真が撮れました。



道端にどんぐりが沢山落ちていました。上を見ると枝にまだどんぐりが。



蝶が透明の羽を高速で羽ばたかせながらホバーリングして花の蜜を吸っています。蝶の名は大透翅（オオスカシバ）チョウ目でスズメガ科ホウジャク亜科に分類されるガの一種です。

透明の翅をものすごい速さで羽ばたかせながら、一定の高さを維持して花のミツを吸っていました。体長3cm位ありました。



「はげつき磯」、「みどりが浜」方面へ降りてみます。



8月に来た場所です（左下：2011年8月7日撮影）

右下：2011年10月1日 バーベキューをする人が丘に見えます。川岸には人はまばら



釣り人の後姿をみているとなぜか寂しい感じがして・・・秋ですね。



干潟で羽を休める鵜の姿も夏とはちょっと違って見えました。
夏に入った林に入りたかったのですが、スズメバチが結構いたので入るのをやめました。



では、そろそろ帰ります。
平成23年10月7日
小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月12日

皇后様のみどりの花の庭園 ねむの木の庭（秋分の日）平成23年9月23日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月13日



今年は二百十日、二百二十日といった台風の特異日近くで全国は大荒れ、その為雨水も補給され気温も幾分秋らしさを取り戻しました。東五反田の花園ではユリオブスデージーも開花しました。仲の良い秋明菊にも出会えました。



五月程ではありませんがプリンセスミチコも開花していました。赤蜻蛉が薔薇に染まっていました。蛭蝶逆立ちです。（裏波蛭）



藪蘭は次々と小花を咲かせています。玉簾は強風の影響を受けた様子でした。女郎花も同様です。秋らしさを感じた庭園でした。

平成23年9月23日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月13日

「彼岸花」 しながわ中央公園（秋分の頃）平成23年10月1日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月14日



しながわ中央公園はボランティア花壇、職人さんの指導があると聞いています。日本古来の花の多い公園です。彼岸花は、楠の古木の下にあります。今年は、白花が追加されていました。



しながわ中央公園は京浜工業地帯の跡地の一つ、生まれ変わって昔の生命を取り戻し始めています。秋風に吹かれ、薄も揺れていました。花の蜜を求め、蝶も飛んできました。八月には行灯の祭りも行なわれました。自然の生命を蘇生させている公園に生きる彼岸花です。

平成23年10月4日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月14日

金木犀香る路地 旗の台五丁目（寒露の前日）平成23年10月8日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月18日



毎日買物で通る自宅近くの路地で、今年も金木犀が香っていました。木犀と言えば白い花の銀木犀、香りも見た目も大人しく、華やかな金木犀が好まれているようです。ただ、今年は、昨年よりは香りが弱いと感じています。



昨年は、しとしと雨が続いた後、区内至る所で一齐に開花した所為かも知れません。又、何となく花数が少ないような気がします。

木犀の犀は動物、花を横から見れば犀の角のようにも見えます。不思議な名前と香りです。

平成23年10月11日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月18日

聖蹟公園の秋、花植替えと清掃から

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月18日

2011年10月7日午後4時から聖蹟公園の花壇の花植替えを行いました。



120株の草花を色の配置を考えながら植替えています。



植替え完了。サルビア、ベコニア、ペンタス、クフエアなど全部で120株以上植えました。



2011年10月12日 聖蹟公園の清掃に来ましたらタバコの吸殻だらけでした。



ベンチにはタバコの空き箱がねじこんでありました。



</a

掃除を終えた花壇に大透翅（オオスカシバ）が花の蜜を吸いにやってきました。



会社の花壇です。ペコニア、冬サンゴ、ペンタス、キバナコスモス、コリウス、キンモクセイなど満開です。

平成23年10月17日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月18日

備前岡山藩池田家下屋敷 池田山公園（寒露）平成23年10月9日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月20日



秋も深まり寒露、はげの紅葉が美しい季節、路地では色付き始めた頃です。遊歩道では萩が満開になっていました。池周りから見える斜面は未だ秋の色になりきっていません。



秋を待つ残暑があっても池周りは緑のある水辺、長閑な心地でした。



紫陽花の七変化も続いていました。玉簾の脇では齒朶(シダ)秋色です。東屋の下でも萩が満開です



東屋付近から見下ろせば秋色は萩の花、本来萩の側には薄(ススキ)、中程にはげの紅葉が見られる寒露の池田山です。一か月以上遅れている秋の到来、管理事務所、池周りの紅葉の色付きが待ち遠しくなります。

平成23年10月11日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月20日

南大井2丁目の秋

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月29日

9月の風台風で樹木や花がかなり傷んでしまいました。

歩道にあるプラタナスの根元がぐらついているのが数本見つかり、国交省に修復していただきました。大きな木でしっかりしているかと思っていたのですが、思いのほか根の張り方が弱い感じでびっくりです。

枝が伸び放題で、落葉拾いが花ボランティアの日課になっています。

●花盛りルコウ草

歩道の夏花も終わりに近づいています。

南大井2丁目の沿道に植えたルコウ草が真っ赤な可愛い花をいっぱいつけています。

今しばらくは夏のなごりを楽しめそうです。



●イベント花盛り

しながわ水族館開館20周年記念のイベントが10月8日(土)、9日(日)に行われ、しながわ区民公園内は大賑わいでした。

交通ルールの指導やマグロの解体ショーなどの様子をマンションから上目線で見ると、どの場面にも参加できそうな気分になりました。



平成23年10月24日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年10月29日

ゴミシリーズ（1）東京湾奥とゴミ

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月04日

京浜運河の定点観察を行っていて、とても気になることがあります。私が子どもの頃、今から50年程前ですが、京急鮫洲駅の西にある高台の公園から広々とした海がよく見えました。でも、この50年間で湾奥はどんどん埋め立てられ、今ではまったく海は見えなくなってしまいました。この先も東京湾にはゴミなどがどんどん埋め立てられ、かつては品川区にも海があったんだと、歴史の中の出来事になってしまうのではないかと心配しています。

今は京浜運河の中にも色々な海の生物が住んでいますが、さらに陸地化が進めば運河は川の延長となり、淡水化して海の生きものは住めなくなり、品川区から海は消えてしまいます。ゴミの量を出来るだけ少なくしたい。定点観察から今そんな事を思っています。



京急鮫洲駅の西の高台の公園から海方向を見る。

いま海は全く見えませんが、50年前はこの公園からは海が広がって見えました。

平成23年11月1日

環境記者 RA

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月04日

五反田駅周辺を綺麗にしています

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月17日

10月23日(日)、今回初めて‘五反田綺麗にし隊’に参加してくれた1年生2名と、3年生2名で五反田駅の東口を綺麗にしました。街を綺麗にすることはもちろん大切ですが、あいさつしてそのことをアピールすることが私たちの目的です！花壇にはまたお花が咲きました。そしてタクシー乗り場周辺に多かったタバコの吸い殻が、1年前に見た時よりも少なくなってきたことを実感できて、これもまた嬉しい報告です。

けれどまだまだ改善されない問題も多いです。上記しましたが、特にタクシー乗り場周辺の植え込みは、ペットボトル・缶・ビン・お弁当のゴミなどで溢れています。



また、この辺りが「お手洗い」にも使用されてしまっていますが、私たちではどうしようもないのが現状です。どうすれば改善されるのでしょうか？初めてこの周辺のお掃除をした1年生も驚いていました。この現状を多くの方に見てもらいたいです。

毎月第3、第4の日曜日に五反田駅周辺を綺麗にしています。

興味をもってくださった方は是非参加して頂きたいです♪

平成23年11月16日

清泉女子大学‘五反田綺麗にし隊’福田あかり、南口絢香（記者NO.100103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月17日

五反田公園（立冬）平成23年11月8日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月24日



立冬、紅葉も終り落葉する季節、氷が張るのも間近といった季節です。
寒椿とも呼ばれる山茶花が咲き始めていました。「山茶花 山茶花咲いた道・・・落葉吹き・・・」昔の童謡が流れていれば、冬が来た事を思い出す筈です。
五反田公園の桜並木は青々としていましたが、山茶花が冬が来た事を教えてくれました。植物達には、気温以外のもの、風が教えてくれているかも知れませんね。
平成23年11月10日
内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月24日

五反田駅周辺を綺麗にしています（2）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月25日



10月23日（第4日曜日）朝10時の五反田駅(東口側)でのお掃除風景です。



まずはバスロータリー近くの花壇の掃除とお花のお手入れをします。



タクシー乗り場周辺です。綺麗にした後ですが、毎回この溝には煙草の吸殻がたくさんあります。



タクシー乗り場の植え込みです。私たちだけでは手に負えない状態です。。



これだけゴミが集まりました！ 気分もいいです♪。



向かいのこの花壇にじゃがいも、さつまいもなどが育てられれば楽しそう...と五反田商店会の岩崎さんと考えてみたり。



この日咲いていたお花はこんな感じです。やっぱりお花っていいですね♪

平成23年11月16日

清泉女子大学'五反田綺麗にし隊'福田あかり、南口絢香（記者NO.100103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月25日

自然派ガーデニング講習会実施

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月28日

9月30日（金）、平塚二丁目町会「花と緑の部」主催で「自然派ガーデニング講習会」を実施しました。講師は生活園芸家の原由紀子先生です。

講習では身近な材料で作れるいろいろなエキスの作り方を教えていただき、植栽育成において有用なエキスを実際に作ってみました。以下は一例のご紹介です。

(1)基本エキス・・・クマザサで作りました

特徴など／生育の活性化、病気に対する抵抗力、抗菌作用

抽出方法／細かく刻み、ひたひたの水で4分煮出す

使い方／500倍で散布

(2)防除エキス（病気）・・・ニンニクで作りました

特徴など／抗菌、害虫忌避作用

抽出方法／200gのニンニクを刻み、1Lの酢につけ3ヶ月以上置く

使い方／800倍で散布

(3)植物以外の素材で

◆米の研ぎ汁で作りました

特徴など／有用微生物のえさ

抽出方法／研ぎ汁を1週間から10日置き、三層に分かれた真ん中の黄色い部分を使用する

使い方／植物エキスに混ぜることでエキスの効果が高まる

◆卵の殻で作りました

特徴など／抵抗力を高める

抽出方法／卵の殻（100～200g）を砕き、クエン酸大さじ3杯に水2Lを加え、殻が柔らかくなったら濾過して保存する

使い方／800倍で散布

今回学んだエキス作りの知識は、平塚二丁目町会が取組んでいる「花いっぱい運動」（取り組みを始めて2年7か月が経過）に役立ってくれることでしょう。



平成23年10月26日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月28日

ゴミシリーズ（２）ゴミの分別と回収

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月28日

私自身、今京浜運河の定点観察を続けながら、都内のあるマンションの管理人をやっています。

実際に出されるゴミについてどんな感じかなと思って、はじめて見てしまった訳です。

分別をとともきちんとしてくれる方がほとんどですが、他方全く分別をしてくれない方もおられる様で、特に可燃ゴミの中に、不燃物やガラス瓶を混ぜて出されてしまう事があります。

可燃ゴミ回収の時に、車に積むのを手伝ってあげようとする、「とても危険なので」と回収作業をしている方に断われました。

ゴミ回収の際、可燃ゴミの中にペットボトル、プラスチック製品、金属缶、ガラスビン、電気器具、ガスボンベが混入していることがあります。下の写真は他の管理人仲間から混入の一例として頂いた写真です。回収の際、ガラス瓶、瀬戸物等が入って入れば車に積み込む時に割れて飛び散る可能性もあります、回収作業をする人もかなりの危険を覚悟で回収を行っているのを感じました。ゴミを出す場合にも、出す人が回収作業を行う人の安全を考えて出してくださいとお願いします。



平成23年11月20日

環境記者 R A

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年11月28日

第16回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2011年12月02日

平成23年11月17日（木）、第16回環境記者情報交換会が8名の環境記者の出席のもとで行われました。

第一部ではインタメディア代表の佐山吉孝様から、品川の風景を見ながら記事の編集について「編集力入門」のお話を伺いました。第2回目の今回のサブテーマは「取材力がモノをいう」です。



取材力とは「材料を集めてくる力」です。良い材料を集める、そこからこそ客観的で、説得力のある記事が生まれます。「取材、情報収集がモノをいう」のです。記事を書くにあたって重要なのは、「間違ったことを記事にはいけない」ということです。しかし、記事の正しさを保証するというのは案外難しいことです。書く立場の者は、客観的でなければいけません。そのためにはどのような対策が有効なのでしょうか。複数人間が関わることによりチェック機能が働く体制を作る、角度を変えて取材する、複数回取材する、時期を変えて取材する、介する人を変えて取材する、という対策が考えられるということです。

実行しやすく分かり易い指針を示していただき、早速実践の場で生かしていけそうです。思い込みが「事実」として流布してしまった例、取材力を求め過ぎて思わぬ失敗が起こるといってお話も伺い、情報の波に流されず溺れず生活していくことの難しさを実感しました。

また前回に引き続き、佐山さんが街歩きをしながら環境記者の地元を訪ね、そこで見る昔の面影を残す風景や、興味をひかれる事象を美しい写真とともに紹介してくださいました。

今回佐山さんが訪れたのは、真壁さんの地元、南大井方面と丸山さんの活動拠点、しながわ区民公園近辺です。現場を見てお二人の活動を取材してみて、これまでの情報交換会で話を聞いていたときは理解度、納得度が全く違い、お二人のことがより身近に感じられるようになった、その努力、熱意には頭が下がると佐山さんは仰っていました。



（左から 南大井2丁目、しながわ区民公園）

第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です。

【真壁さん】

「花交差点の仲間たち」の活動も8年目に入り、マンネリ化しているところもある

かもしれませんが、佐山さんからアドバイスをいただきましたので参考にしていこうと思います。11月20日は年に2回の植栽日で60～70名が参加する予定です。

【五反田綺麗にし隊・福田さん】

毎月第3、第4の日曜日に五反田駅周辺の清掃をしています。街を綺麗にすることはもちろん大切ですが、あいさつをしてそのことをアピールすることが私たちの目的です。タクシー乗り場周辺の植え込みはゴミで溢れていて、また、「お手洗い」としても使用されてしまっています。この状況はどうすれば改善されるのでしょうか。

【畔柳さん】

相変わらず、歩行の際にポイ捨てゴミを拾ってきれいにしています。また、毎月1回五反田商店会主催の街をきれいにする活動に、個人ボランティアとして参加しています。五反田駅周辺の清掃をしている福田さんたちの活動に興味があります。

【志賀さん】

平塚2丁目商店会は環境にやさしい完全循環型エコを目指して3年目になります。9月末には自然派ガーデニング講習会を開催し植物の育成に効果のあるエキスを作りました。今年は、商店会のクリスマスの飾りをLEDに換えてデコレーションする計画を進めています。商店会の活動は、地域とのコミュニケーションがあつてこそ実行可能になると思います。



【小野さん】

聖蹟公園の花壇の花植替えを行いました。後日公園の清掃に来ましたらタバコの吸殻だらけで、困ったことだと思います。地球温暖化や環境破壊などの環境問題について、子供たちに小さいうちからやさしくわかりやすく伝えていく取り組みを会社としてやっていきたいです。

【辻本さん】

節電のため、街が暗いです。今まで日本は世界の他の国に比べて照明が明るめでした。電力不足の問題を乗り越えて、今後は明るすぎず暗すぎずの、快適で省エネ効果に優れた環境が増えることを期待しています。来年の夏には、皆が元気が出るような暗すぎない街になっていることを願います。

【若井田さん】

山梨県平山キャンプ場で総勢130人のサマーキャンプを実施しました。電気のない環境で薪を原料にしての自炊、自然の中での分別ごみ出しなど、子どもたちはエコを十分に体験しました。突然バケツをひっくりかえしたような大雨にあい、これも自然の醍醐味だと思いました。次回は2月に日光で雪遊びをする予定です。

【新居 さん】

福島で農業をしています。林野庁の通達により、放射線量の検査結果が出るまで、しいたけの出荷ができない状態です。11月2日から4日まで陸前高田、飯館、気仙沼方面を視察してきました。最大の現場破壊、原発をどうするかが問われていると思います。品川も無関係ではられません。



皆さんそれぞれのグループで積極的に活動されており、その報告をしていただきました。また、今回初参加の五反田綺麗にし隊の福田さんの抱える問題について、活発な意見交換がおこなわれました。今回も時間が超過してしまいましたが、内容の濃い充実した情報交換会になりました。

カテゴリ : ◆情報交換会

投稿日 : 2011年12月02日

ゴミシリーズ（3） ゴミの分別とマンション管理人

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月06日

ゴミの分別について、分別をしないで出す人について、色々なマンションの管理人仲間に聞いてみましたが、どこのマンションでも一人、二人はいる様で、皆も困っているとの事でした。

実際にはそのままゴミを出すと同回収車での回収作業の際、中から取り出されて「資源です」等のラベルを貼られて置いて行かれてしまいます。それ自体は新しく勤務する管理人のための訓練として良い事だと思いますが、管理人としては後片付けの手間等で困ってしまいます。従って事前に出されるゴミを分別して、それぞれの回収の日に出せる様分別せざるを得なくなります。

マンションではゴミの分別についての責任はそのマンションの管理組合にあるとの事で、清掃局では直接注意は出来ないとの事です。そこが個人宅の場合と違うのですが、ゴミの回収に来た時の忙しい中でも、回収をされている方が分別のための配付用パンフレット等、色々よく相談に応じて頂けます。

ゴミは大体、夜に出されていますので、朝の清掃車の回収迄に少し時間があればゴミの分別も出来ますが、回収時間が早いとそれも出来ません。抜き出されてラベルを貼り、置いていかれてしまいます。ゴミの分別を皆さんが注意をして、特にガラスビン、瀬戸物、ガスボンベ類等危険なものについてはゴミ回収員の方たちの安全をも含めてしっかりと分別すべき事です。しかし残念ながら「全く分別の出来ない人もいますよ」と管理人同士の集まりの時によく聞かれます。

品川区環境情報活動センター登録の環境記者、京浜運河の貝の定点観察者、マンション管理人の目から見て、最終的に被害を受けるのは東京湾奥の浅場をゴミで埋め立てられ、棲める場所が無くなってしまふ海の生きものたちと思っています。



回収時に資源ゴミとされて置いて行かれたペットボトル例です。ラベルは清掃局の方から許可を得てお借りしたものです。

平成23年12月1日

環境記者 RA

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月06日

「五反田綺麗にし隊」レポート（11月20日）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月06日

「五反田綺麗にし隊」の11月20日の活動をご報告します。



11月20日(第3日曜)は岡崎写真館前からお掃除スタートです。



五反田駅前です。看板・お店のごみ箱が見ばえを悪くしています。

品川市役所にお勤めの白鳥さんと、五反田商店会の地域活性化に取り組む岩崎さんが看板について解決策を話し合っていました。



裏に入ると暗く、どよ～んとした雰囲気。

ここで今日はパブリカを発見!

「綺麗にし隊」の発起人であり、いつも支えになってくださっている岩崎さんをパシャリ!



ここは東五反田1,2丁目付近です。お店の方の協力もあって防犯カメラが増えました!



今日もお掃除お疲れさまでした!!

1年生の7人(今回は1,2列目の5人です)が清泉女子大学「五反田綺麗にし隊」に入ってくれたことが本当に嬉しいです。あいさつも元気よくしてくれるみんなが頼もしいばかりです。

残念ながら今日の活動は3年の南口が休まざるを得なくなり欠席でしたが、私たち3年で「五反田綺麗にし隊」を絶やすことはなく、バトンを1年生に渡したことを商店会の方にお伝えできました。一応3年の南口・福田は「五反田綺麗にし隊」を卒業という形になりますが、'五反田を綺麗にしていきたい!'という気持ちは変わりません。少なくはなりますが、これからも活動に協力していきたいと思っています。

これからの五反田をより良くして下さいね! 1年生応援しているよ!

平成23年11月30日

清泉女子大学'五反田綺麗にし隊'福田あかり (記者NO.100103)

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年12月06日

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月07日



11月も下旬。小雪を迎えましたが東五反田にある花の庭園では合歡木の葉がまだ青々としていました。半世紀以上も昔の記録では11月の気温は7度から16度。紅葉が終わり落葉の季節、日によっては小雪の舞う季節です。道路沿いでは薔薇の女王「プリンセスミチコ」が迎えてくれました。



正門横では金色の代理である黄色の菊、ユリオプスデージーが来訪の人々を見守っています。庭園の奥では庭師の方が花たちを見守っていました。正面奥では山法師が黄色の頭巾になっていました。



山法師の下ではアホニア、小さな鈴のような花を付けていました。その奥では一際大きな薔薇が一輪、庭園を見渡していました。中程奥では白樺。黄葉していました。白は銀の代理。金銀揃った光景です。



庭園の奥でも今年仲間入りした白樺が二本、金色に輝いていました。庭園ではプリンセスミチコが咲き誇っていました。その向こう合歡の所に人影。蝶が舞っている雰囲気です。

皇后陛下の御詠「白樺の小枝とびつく白き蝶ら野辺のいづくに姿ととのふ」
蝶の舞姿が一時をまとめてくれました。

平成23年11月24日 内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年12月07日

「かっぱっこまつり」に参加しました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月12日

2011.11.12（土）品川区こども環境イベント「かっぱっこまつり」に、会社でボランティア活動参加の有志を募って参加しました。

場所は品川区立東品川児童センター、時間は10:00～14:30（準備、活動、片付けまで）

- 1）朝10時会場の準備風景、展示物の配置を考えながら急いで作っています。子供たちがたのしく遊んでくれるように配置します



- 2）午前11時には準備を終えて、早目の昼食をとります。



「ボルネオ緑の回廊プロジェクト（*）」の紹介をしましたが、そのお話を聞いてくれた子たち、パネルやジャングルつりゲームなどのゲームをしてくれた子たちにもれなく景品を渡す準備もできました。

（*）「ボルネオ緑の回廊プロジェクト」について

ボルネオ島北東部を流れる川の流域は、ボルネオゾウやボルネオオランウータンなど野生動物が多く生息し、それらの保護区と保存林があります。1990年代からアブラヤシのプランテーションの開発が急速に進み、保護区は分断化されており、野生動物は個体数の減少だけでなく、遺伝子の多様性が失われています。

このプロジェクトは、川沿いにある保護区、保存林の間にある土地を確保し、野生動物が自由に移動できるようにするものです。

当日は子ども向けに分かり易いパネルでの紹介をしました。

- 3）12時15分、まつりスタートです。いきなり大勢の子供たちが並び、大忙しのスタッフ（小林主任研究員、辻本主任、杉山担当）





列が途切れることなくまだまだ続きます。

14:15分、時間になっても子供たちとゲームで遊ぶ小林主任研究員。
子供たち「ハイッ、つれたよ!、ハイッ」主任研究員「ハイヨー、チョット、マツテ、ハッ、ハ、ハ・・・^O^ ;・・・(最後笑うしかない) 」



平成23年11月14日

小野文義 (記者NO. 090107)

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2011年12月12日

ヒマラヤ桜 肥後熊本藩細川家 江戸 戸越屋敷跡 戸越公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日



大雪を迎え松の雪吊、門松もある中、ヒマラヤ桜の白い雪。本来、小雪の頃が見頃の事。



近隣の人の贈物、日本渡来は東京オリンピックの頃、来訪のネパール皇太子から、後に種が熱海に贈られ広まる。「つゆ」がたっぷりある。



満開ではないが多くの人が記念写真に納まっていた。目白も来てくれればいいが、開花後すぐには落下しない。道路沿いにも一本ある。



荏原町弁天通り公園でも開花している。

平成23年12月8日

内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2011年12月14日

蘇鉄のこも巻き 備前岡山藩池田家下屋敷跡池田山公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月13日



寒に弱い蘇鉄は南方生まれ 二人の職人、蘇鉄を守る 稗(ワラ)の糸、大葉、子葉、
留める



稗の布、熱こもる 二手に分かれ裾着ける 下より重ねる こもを留める



腹を締める 肩を固める 千夜に作る頭
は稗の宝珠



襟を整え、 頭を据える 稗の気は蘇鉄の気 結びし糸は耳目
花口と成る



仲間の親子、跡を追う



裾を留め、蘇鉄のこも巻きと成る
竹は綱を留め、綱はこもを支え、こもは蘇鉄を包む。

成すは二羽の職人、和の伝統成
平成23年 師走22日
内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2012年01月13日

小寒の頃 しながわ中央公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月19日



公園飾る 四季折々、色取り取り、 ボランティア



黄花咲くは二月～三月 山茱萸（さんしゅゆ）、赤い実揃う



グランド脇 露草咲く
園内、野草多数あり、 春を待つ
平成24年 睦月7日
内田雅弘



蕾もある 今は小寒？

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月19日

臘梅開（小寒の頃）しながわ区民公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月19日



梅林に咲く 例年、正月の花
増えた仲間

先達

大小参



寒の候、青空に黄色の蠟細工 人の心に燃え 冬を暖める 臘梅は老輩の優しさなり



高砂の丘 九重の塔裏 春待姿
桜の頃、開花 三桎、蕾多数
今は冬、寒の入 つつじは早過ぎ



丘より南 勝島の海 東京湾の海水入る
東海道、松並木、春を待つ
平成24年 睦月7日
内田雅弘

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月19日

品川区の交流都市、山北町へ行ってきました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月24日



昨年（平成23年）12月11日、神奈川県北西部に位置する山北町西丹沢に立ち寄りました。その時の情景です。山北町は品川区が交流都市として、農園の土地活用をしています。

往訪したのは晩秋の西丹沢、紅葉も盛りを過ぎ農作業を終えた山間の田畑や西丹沢から流れ出た清流が寒そうにしぶきを上げて勢いよく流れていました。

閑散とした丹沢湖を横に見ながら、西丹沢の一番奥の山岳案内書まで探索を致しました。

その地は箒澤というところで、自然の風雪に長年耐えて乗り越え、2000年を生き抜いた大木の箒杉がずっしりと立っていました。



その箒杉のすぐ上に箒茶屋があり、おいしい手打ちそばを茶屋の老夫婦が提供してくれ、美味しく頂きました。

そこで老夫婦の話を聞くことになりました。

長年この奥地で山を守る消防隊での苦労や水汲み、火起こしなど過酷な生活についてのお話を伺いました。寡黙なおじいさん、話し好きなおばあさん、今になって振り返ると良かったなという思い出だそうです。

印象に残った話は、この箒杉が2000年間生き抜いてきた間に、この世の中に色々なことがあったらという話でした。

出来ることならこの杉の木に耳を当てて、世の中の移り変わりを聞いてみたい。こんなことができたらいいなと話されました。

小生も同調しました。

平成24年1月19日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成23年度

投稿日 : 2012年01月24日

「品川・大井町 みどりと花を守る会」活動報告

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月27日

2012年の第1回目となる「品川・大井町 みどりと花を守る会」の清掃ボランティア活動が1月11日(水)に実施されました。2011年度より開始したこの活動も早1年が経過し、第19回目の活動となりましたが、品川区役所・水とみどりの課のバックアップのもと、定期的に活動しています。

2012年度は賛同者を募集し、清掃活動の精度をさらに向上させたいと考えています。

第19回目の活動でも目立ちましたが、公園利用者が飲食したゴミや煙草の吸殻があちこちに散乱していました。



公園利用者のマナーについてはなかなか是正できませんが、常にきれいな公園を維持するためには、一人一人のマナー向上が不可欠であることを年頭より改めて考えさせられました。

今回の活動では銀杏の葉っぱの落下も収まり、全体的にはごみ量は減りましたが、やはり70個のゴミ袋1袋分を収集し、綺麗な公園にすることが出来ました。



今後は、季節ごとの花を花壇スペースに植え込み、殺風景なイメージを払拭することで利用者のマナー向上につながらないか?とも考えています。

やはり、花々がきれいに咲き乱れているところにゴミの放置は似合わないですね。

今年も、”継続は力なり”の精神で頑張っ活動継続して参ります。

平成24年1月20日

徳島政治（記者NO.100106）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月27日

聖蹟公園の花壇の花を植替えました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月27日

私たちはボランティア活動グループ「品川フラワーレンジャー」として、定期的に環境活動をしている会社の仲間です。

2012年1月13日（金）聖蹟公園花壇 花植替え実施記録

活動時間：午後3時から4時30分

活動内容：花壇の花植替え（パンジ、ハボタン、ビオラ、ノースポール、デージー）

花壇周辺の清掃

遊具点検



写真②

写真①



今回は花壇の土が固くなっており、よく土を耕してから植え替えをしましたので時間がかかりました。普段はこの広さ（「縦0.5m×横1.8m」と「縦2.5m×横1.5m」）を4～5人の作業で40分程度で終わっていましたが、今回は1時間半ほどかかりました。

腰を下ろしての作業は何度やっても慣れません。腰、膝にきます。「痛てててっ・・・」

平成24年1月25日

小野文義（記者NO. 090107）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年01月27日

春遠からじ しながわ区民公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月07日

一年で一番寒い季節、冬将軍が居座り寒い日が続いていますが、1月31日晴れ間を見つけて公園を散歩しました。



1月24日朝、公園も一面の雪景色になりました。一週間経っても日陰には霜柱や雪の名残が・・・



区民公園内の梅林には20数種類の梅の花があります。今年は例年より開花が遅いように思います。

かなり蕾もふくらみ今にも咲きそうな木もあります。数日暖かな日が続けば可愛い花を見せてくれることでしょう。春が待ち遠しいですね。

それぞれ開花時期が違うため長い期間香りと可愛い花が楽しめます。



松の木のこも巻は、二十四節気の啓蟄までには取り外され春の装いになります。松の木の選定作業を行っていました。

撮影平成24年1月31日

真壁美枝子（記者NO.080103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月07日

雪の山里（大寒の候）備前岡山藩池田家下屋敷跡池田山公園

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月08日

東五反田 品川 東京 平成24年睦月23、24日



都会の山里、冬の域、久々の雪 夜明、雪凍 寝中雪降 雪の池・田・山
池の縁より



界の先、松の富士 観す 樹木の白雪 枯木を白花とす 中の橋 石に積し
て 白の橋



秋紅冬白、山里枯枝 松間山道、行路雪積 松雪、吊糸、空
雪



大寒候雪吊糸絡 松庭遊 統松冠白天中青 白冠林塰



東屋 雪舞、雪花 枯枝、満開 雪
交歩道



雪の前日、蠟梅、半開 東屋前、寒椿



山白乞坂道 松雪吊糸雪無 鯉泳花開 池田山 冬候合白山雪

平成24年 陸月30日
内田雅弘

カテゴリ: 平成23年度

投稿日: 2012年02月08日

私の環境記者応募理由

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月21日

現在私が副理事長職にある社会福祉法人が2004年に保育園の経営を委託された際、その保育園はかなり老朽化しており、その改築にあたって環境に優しいECO園舎にしたいと考えておりました。

そこで2006年環境記者に応募し、環境記者懇談会の席上で雨水の再利用、温暖化防止対策、講師の品川街歩きによるさまざまな植栽の仕方等を学びました。又、水とみどりの課の指導により土壌の作り方、寄せ植えやハンギングプランターの楽しみ方等々につき、この6年間で知識を吸収しました。

一昨年、耐震補強工事診断結果を契機に、園舎耐震補強と改修、一部増築工事を行うことになり、敷地約800㎡、園庭330㎡、建築面積約300㎡の2階建ての保育園増築計画が具体化し、耐震と緑化を盛り込んだ設計図が完成、4月着工、来年3月完成の運びとなりました。この計画の中には環境記者として得た知識も織り込んでおります。

その概要は、道路に面した場所に休憩処を設けて地域にも開放し、建物の壁面を緑化し、園庭づくりをしています。今後工事進行状況に合わせてご紹介できると思います。

また現在、私は平塚二丁目町会で話し合いを続けながら、町会の「まちなか緑化（東京呼称＝界わい緑化）」助成申請書作り（2月提出予定）に取り組んでいます。これが採用されると5年間の取り組みとなり、平塚二丁目町会内主要道路が緑のベルト通りに変貌します。「住んでみて、歩いてみて、気持ちのよい街」、こんなことを夢見て懇談しながら、今年も過ごしていこうと思っています。

平成24年2月16日

志賀 勝（記者NO.060110）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年02月21日

春の兆しがこんなところにも

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月01日

2月6日（月）寒さ厳しい中、家の近くの西中延児童センター駐輪場内にある二坪程度の忘れられた花壇の中に、昨年こぼれた種から芽が出たと思われる菜の花が三株程育ち、開花していました。その花の中に一匹の小さな蜂が蜜でも求めているらしく、弱々しく飛んでいました。

寒さの中で春の兆しが見え隠れしているワンシーンでした。



平成24年2月24日

中西義治(記者NO.060108)

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月01日

清光院 (紅・白・梅、春気・張) 候 : 雨水

カテゴリ : 平成23年度

投稿日 : 2012年03月01日

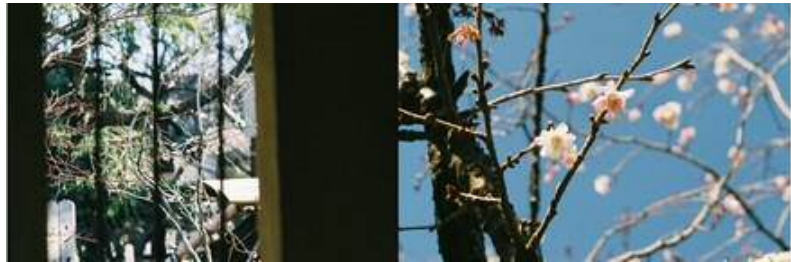


庭内、建・東屋・祠

紅梅・開・東屋・南



蕾、張内



東屋、点在・淡白・梅

形異・梅



晴天・埋・紅白梅

春・黄・万作・開

冬・黄・蠟梅

平成24年 如月21日

カテゴリ : 平成23年度

投稿日 : 2012年03月01日

雪の中での自然体験

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月07日

2012年2月12日（日）に総勢48名にて日光・光徳牧場へ雪あそびに行きました。当日は天候にも恵まれ、子供たちは元気いっぱい遊びました。事前に遊ぶ範囲の場所を確認し、メインはそり遊びになりました。自然の地形を利用した滑降と階段を利用した場所を使い、スピードとスリルを子供たちだけでなく大人も、午前と午後満喫しました。一面雪景色で、木立を抜けると大きな広場があり、多くの家族づれが雪あそびを楽しんでいました。またそり遊びの場所からも牛の姿が見え、子供たちは歓声をあげています。

お昼は食堂で皆一緒にカレーライスをおなかいっぱい食べてお昼休みを取り、また、雪の中へ一目散です。皆寒さにもめげず、15時にはなごりおしさを残しバスに乗り込み帰路につきました。子供たちは雪あそびを通じて自然体験を十分に出来たと思います。楽しい一日を過ごせました。



平成24年2月29日

若井田悦男（記者NO.110201）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月07日

品川区民大学入門講座に出席して

カテゴリ：平成23年度

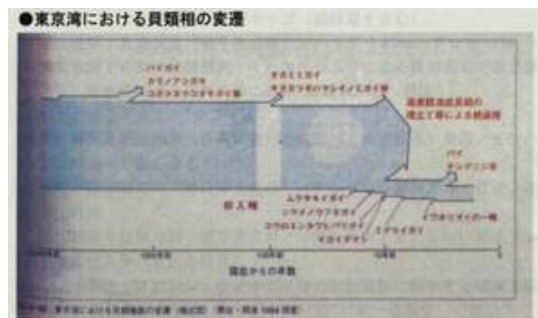
投稿日：2012年03月07日

「大森貝塚から現代まで～東京湾の貝類史」
(講師：千葉県立中央博物館上席研究員 黒住耐二様)

貝仲間から紹介があり、お話を聞いて来ました。更新世と今の時代の貝類相にほとんど変化はなく、当時から絶滅した種は2種類位とのこと。でも東京湾での貝類の絶滅で一番影響力が強かったのは昭和の高度成長期における干潟の埋め立てで、この時代は水の汚れがすさまじかったとのことでした。近年は貝も少し戻ってきていますが、多くの外来種（移入種）が外国からの船の船底に付いてきたり、バラスト水などで結構移入してきているとのことでした。

運河の現在迄の観察結果では、品川区の運河の中は外来種の多さでは全国トップクラスで、貝以外にもカニやその他の生き物が多く、ホットスポットと言われています。

大昔と今の違いについては分かり易くてよく理解でき、たいへん参考になりました。図がちょっと見難いかも知れませんが、左から右への時系列です。幅広い部分が貝の種類数で、右の方で急に細くなっていますが、これは昭和の高度成長期による埋立てと水の汚れにより多くの種類が減少してしまったことを表しています。右下に数か所突き出たところがありますが、これはその後東京湾に入って来た外来種を表しています。



品川区にもすばらしい海があると思います。皆さんも機会をみて海に出かけてみてはいかがでしょうか。環境への配慮がいかに大切であるか、とても参考になると思います。

平成24年2月28日

青野良平（記者NO.070103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月07日

「平成23年度しながわ環境大賞」を受賞しました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月16日

西中延三丁目町会の資源回収事業について

(1)西中延三丁目の紹介

東急池上線が旗の台駅から荏原中延駅の間、線路が地上から地下にもぐり込んでいますが、その線路の地上に二つの公園（くすのき公園・おひさま公園）があります。西中延三丁目は、この公園を挟んだ地域です。開校してから昨年11月で131周年を迎えた歴史のある延山小学校に隣接し、通学する元気な子どもさんたちの声が響く町です。

人口構成は、平成24年1月現在男性993名女性1,064名計2,057名1,078世帯です。

(2)資源回収の目的

資源回収は、地域の資源となる物を回収し、リサイクルを進めるとともに、資源売却代金を地域の振興や町会員の福祉向上のために使用することを目的として行われています。

(3)活動

この活動が始まったのは、20年ほど前である平成3年ころからです。組織的になったきっかけは、「集まった資金で町会員が集えるような会館ができたなら」という漠然とした「夢」みたいな話からだそうです。しかし、地価高騰などでこの「夢」は夢で終わるかもしれないことから、もっと町会員の身近な生活に役立つような使い方を考えようということにしています。

周年で毎月、第一土曜日、第二金曜日、第三土曜日の3回、朝7時から9時まで、新聞紙、雑誌、ダンボール、アルミ缶を回収しています。作業には、毎回町会員15人から20人が自主的に参加。3台のリヤカーと自分の自転車町内を回り、玄関先などに町会員が出している資源を回収しています。また、作業場となっている公園には町会員5～6人が待機。資源の仕分けや業者のトラックへの積み込みを行っています。さらに作業場に直接徒歩や自転車、車で新聞紙やダンボールなどを持ってきてくれる町会員も多く、町会員のリサイクル意識の高まりとともに資源回収は、町会員に定着しており、回収金額は年間約60万円になっています。

(4)現状と課題

資源回収事業は、町会員のリサイクル意識の高まりを受けて、町会員の自主的参加と町会員の協力によって、進められてきました。該当日に町会の回収に出そうと日頃から資源になる新聞等のストックに心がける町会員も多く、捨てないで再利用できるものは、資源回収に出すことが当たり前になってきています。また、この活動に参加することが町会や町会員のためにもなると思い、喜びを感じている町会員も多くなっています。

このように、活動は定着していますので、回収資金の使い道をどうするのかを模索中です。町会行事への援助、子どもたちの活動への援助など、使い道を考えること自身が協力してくれる町会員の楽しみとなっています。町会員の同意を得て、昨年の東日本大震災への義援金として一部が使われたこともありましたが、もっと若い人たちが活動に参加してもらえるためにも、使い道は十分に町会員の意見を集約することが大切であると思います。

西中延三丁目町会資源回収実績

単位kg		新聞(キロ7円、 23年は6円)	雑誌(キロ8円)	段ボール(キロ6円)	アルミ缶(キロ13円)	合計金額(円)
平成20年	合計(単位kg)	81,395	20,275	18,055	2,223	
	合計金額(円)	429,785	121,550	108,330	28,899	688,644
	月平均(単位kg)	5,116	1,890	1,805	185	
	月平均金額(円)	35,814	10,138	9,028	2,408	
平成21年	合計(単位kg)	53,015	23,315	19,130	2,454	
	合計金額(円)	371,105	163,205	133,910	17,178	685,398
	月平均(単位kg)	4,418	1,943	1,594	205	
	月平均金額(円)	30,925	13,600	11,159	1,432	
平成22年	合計(単位kg)	54,035	16,320	18,075	2,045	
	合計金額(円)	378,245	97,920	108,450	14,315	598,930
	月平均(単位kg)	4,503	1,360	1,506	170	
	月平均金額(円)	31,520	8,180	9,038	1,192	
平成23年	合計(単位kg)	54,950	17,900	19,415	2,410	
	合計金額(円)	329,700	107,400	116,490	16,870	570,460
	月平均(単位kg)	4,579	1,492	1,618	201	
	月平均金額(円)	27,475	8,950	9,708	1,406	

町会の資源回収事業が「しながわ環境大賞」を受賞しました。町会員の皆様のご協力のおかげです。これからもよろしくお願ひします。



西中延三丁目 町会長 小野 紀元
資源部長 新保 欽二

平成24年3月6日
新居 邦明 (記者NO.100105)

カテゴリ：平成23年度
投稿日：2012年03月16日

「しながわ社会貢献アワード」を受賞しました

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月16日

私たち「清泉女子大学 五反田綺麗にし隊」は2月25日（土）きゅりあん7階で開催された「社会貢献活動しながわ」で“広がる笑顔! 広まる絆!!五反田綺麗にごみ拾い”を皆さま方にご紹介しましたところ、図らずも「しながわ社会貢献アワード」（*）の栄に浴することになりました。

（*）地域に根ざした社会貢献活動や協業事業、企業のC R S活動を応援することを目的に、品川区内で活躍する斬新でユニークな活動を表彰する企画ここに私どもの活動をご紹介しますとともに、この活動にご理解をいただきましたみなさまにお礼を申し上げたいと思います。

五反田綺麗にし隊は、清泉女子大学の福祉環境委員会から、2003年の冬に発足した団体です。その活動は、毎月第3日曜日は街中の、第4日曜日は駅前の植え込みやタクシー乗り場のゴミ拾いをしています。

私たちのモットーは、

笑顔であいさつ ⇒ ゴミを捨てない街づくり、清掃活動で地域交流 ⇒ 支えあい・助けあい

☆やりたい人が、やりたいときに、できる範囲で！！ ⇒ 無理せず、楽しく！！！！！！

を目標としています。

綺麗で住みよい五反田の街を地域の方たちと共に作っていきたいです。



<平成24年3月1日

清泉女子大学「五反田綺麗にし隊」並木里沙（記者NO.100103）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月16日

万作・開（弥生・始）（中延、西中延、品川、東京）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月16日



中延五丁目・路地

→豊年万年祈→「万作」→「マンズ咲ク」→「マンサク」 春「他ヨリマンズ先ニ咲ク」

春・黄、蠟梅・渡



西中延三丁目・路地

支那万作、黄・薄



西中延三丁目・仲通

春木・気・黄・候・弥生・始、

平成24年弥生4日

内田雅弘

春気、漂、中延。

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月16日

第17回環境記者情報交換会

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年03月17日

平成24年3月6日（火）、第17回環境記者情報交換会が9人の環境記者の出席のもとで行われました。

第一部ではインタメディア代表の佐山吉孝様から、記事の編集について「編集力入門」のお話を伺いました。今回は第3回目（最終回）でサブテーマは「表現力をパワーアップ」です。



「表現力のある記事とは、読みやすく、分かりやすく、納得できる、つまり、説得力のある記事なのです。説得力を高めるには、データ、因果関係、時間的経緯(歴史)を押さえることが有効です。記事を書く基本は箇条書きです。箇条書きをただ接続詞でつなぐのではなく、文章の構成要素を意識して、起承転結、5W+1H（誰が、いつ、どこで、なぜ、何を、どのように、したか）に気を付けると読みやすい文章になります。また、記事の中に自分の好きな世界に遊んでいるときの視点を取り入れて記事を仕上げると、表現に磨きがかかって説得力のある記事になるでしょう。」というお話でした。

また前回に引き続き、佐山さんが街歩きをしながら環境記者の地元を訪ね、そこで見る昔の面影を残す風景や、興味をひかれる事象を美しい写真とともに紹介してくださいました。

今回佐山さんが訪れたのは、塚さんの地元である大崎周辺と青野さんの活動拠点の浜川周辺の海辺です。お二人とも、小さい頃から好きだったこと（テーマ）をずっと追求し続けていらっしゃる。塚さんのテーマは蝶と植物、青野さんのテーマは海の生物、主に貝です。同じ土地でずっと好きなことを追求できる、それはとても幸せなことであると同時に、これからの社会において（特に環境問題を考える上で）とても重要な市民活動だと思う、と佐山さんは仰っていました。



塚さんが管理している芳水小学校の花壇 青野さんが38年前から定点観測している砂浜

第二部は環境記者の皆さんの活動紹介です。

【小野さん】

ボランティア活動グループ「品川フラワーレンジャー」で、聖蹟公園の花壇の花を定期的に植え替えています。合わせて花壇周辺の清掃、遊具の点検を行っています。1月に植え替えた花が育って見栄えがあるものに成長するのが楽しみです。2050年には石油エネルギーがなくなると書かれた本を読みました。石油に代わる代

替エネルギーとして有効なものは何なのか関心を持っています。

【中西さん】

野菜の種を蒔き、発芽した芽が寒波襲来を受けてどのように生命を維持するのか観察しました。野菜類は葉が凍っても土地に張り付くように命を継ぎ、寒さに耐えて立派に育っています。家の近所の駐輪場内の花壇に昨年こぼれた種から芽が出たと思われる菜の花が咲いているのを見つけました。花粉を運び菜の花の種を媒介する蜂が環境の悪化のため減っています。

【勝山さん】

毎年5月に開催されるエコフェスティバルの実行委員をしています。自分たちが住む街に愛着を持って居心地がよいことは素晴らしいと思います。品川の地形や自然について学校でもっと教えてほしいです。品川区を訪れた地方の方にも品川の良さを知ってもらいたいです。仙台、長浜地区に行ってきました。市街地に近いところは復旧が進んでいます。東京都からパトカーや消防車が派遣されています。



【徳島さん】

1月に「品川、大井町みどりと花を守る会」として公園の清掃ボランティア活動を実施しました。2011年度より開始したこの活動も早1年が経過し、第19回の活動となります。2012年度は賛同者を募集し、清掃活動の精度をさらに向上させていきたいです。常にきれいな公園を維持するには、公園利用者のマナーの向上が不可欠です。花壇スペースに植え込みをして殺風景なイメージを払拭することで利用者の意識を変えていけないかと思います。人が集まってきて、活気がある公園が望ましいと考えます。公園の樹木の調査をし、開示していく準備をしています。

【若井田さん】

2月に総勢48名で日光、光徳牧場へ雪遊びに出かけ、主にそり遊びを楽しみました。一面雪景色でそり遊びの場所から牛の姿が見え、子供達は歓声を上げていました。子供達は雪遊びを通じて自然体験を十分にできたと思います。自然に親しむことにより、品川の自然環境についても考えられるようになるとよいですね。

【新居 さん】

西中延三丁目町会の資源回収事業で、しながわ環境大賞を受賞しました。資源回収は、地域の資源となるものを回収しリサイクル化を進めるとともに、資源売却代金を地域の振興や町会員の福祉向上のために使用することを目的としています。



【五反田綺麗にし隊・並木さん】

毎月第3日曜日は街中の、第4日曜日は駅前の植え込みやタクシー乗り場のゴミ拾いをしています。2月25日に開催された「社会貢献活動しながわ」でしながわ社会貢献アワードをいただきました。五反田駅前の植込みがタクシー運転手のトイレとして使われているので、タクシー乗場近くに簡易トイレを設置することを都議会議員の方に提案しました。

【真壁さん】

「花交差点の仲間たち」の活動の成果で、自転車が歩道に放置されることはなくなりましたが、スペースができたことにより、自転車が歩道でスピードを出すようになりました。月例の活動では40人、植栽期には60人のボランティアが作業をしています。作業中に自転車が疾走すると危ないので、対策を講じたいと考えています。

【塚さん】

ボランティアで大崎地区周辺の花壇の植込みをしています。地域の小学生、中学生、高校生とともに活動することもあります。今年は寒かったので、植物の成長にも影響があり、鳥が少なくなかえるが出てくるのも遅いようです。



皆さんそれぞれのグループで積極的に活動されており、その報告をしていただきました。お互いの活動について意見交換や助言が活発に行われました。また、代替エネルギーの問題も話題に出て、話がはずみました。今回も時間が超過してしまいましたが、内容の濃い充実した情報交換会になりました。

カテゴリ：◆情報交換会

投稿日：2012年03月17日

平成24年春の草花（しながわ区民公園）

カテゴリ：平成23年度

投稿日：2012年03月23日

このところ(*)の暖かさで、しながわ区民公園の草花も、急に動き始めました。(*)3月6～7日の東京の最高気温は15℃以上でした。
白や赤や黄色など、色とりどりの草花の色が青空の中に輝いています。
4月の桜、5月のツツジなど、しながわ区民公園の草花がみなさんを迎えてくれることでしょう。



梅山の状況（白加賀、冬至、月影など）

梅山の状況（白牡丹、玉牡丹、米良など）



豊後



白加賀



緋梅



冬至



スイセン



ボケ



サンシュウ
撮影：平成24年3月13日
丸山 均（記者NO. 090105）



サンシュウ

カテゴリ：平成23年度
投稿日：2012年03月23日